

宮島の祭

年間 300 万人以上の人々が訪れる宮島では、大小さまざまな祭が執り行われています。この講座では、厳島神社で執り行われる神事・祭礼を取り上げ、その歴史の変遷をたどることで、新たな宮島の魅力に迫ります。

■日 時：平成 23 年 6 月 17 日・7 月 1 日・7 月 15 日・7 月 29 日・8 月 12 日
金曜日 10：30～12：00 （全 5 回）

■会 場：広島県立図書館会議室（広島市中区千田町 3 丁目 7-47）

■講 師：県立広島大学宮島学センター 助教 大知徳子

■内 容：		
6 月 17 日	第 1 回	厳島神社の内侍―平家の伊都岐島別宮―
7 月 1 日	第 2 回	管絃祭―舟管絃―
7 月 15 日	第 3 回	御島廻―七浦をめぐる神事―
7 月 29 日	第 4 回	ぶとまがり―正月の唐菓子献上―
8 月 12 日	第 5 回	宮島を訪れた人々―平安から明治まで―

■受講料：無料

■募集人数：30 名

■対 象：どなたでも（初心者を対象とします）（原則として連続 5 回受講できる方）

■申込方法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、平成 23 年 6 月 2 日（木）（消印有効）までに次のところにお送りください。

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学地域連携センター「宮島の祭」係

電話（082）251-9534

受講案内は申込締切日以降にお届けします。なお、申込多数の場合は、これまでに県立広島大学の宮島関連講座を一度も受講したことのない方を優先して抽選します。

(返信面の表)	(往信面の裏)
〇 〇 〇 〇 様	①郵便番号 ②住所 ③名前 ④ふりがな ⑤電話番号

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

■主 催：広島県立図書館、県立広島大学地域連携センター



講座内容



第1回 厳島神社の内侍ないし—平家の伊都岐島別宮—

厳島神社の巫女は、「内侍」と呼ばれています。平清盛をはじめ、多くの人々をひきつけた内侍の魅力とは、いったい何でしょうか。また、平氏によって都におかれた伊都岐島別宮についてもご紹介します。

第2回 管絃祭—舟管絃—

旧暦六月十七日の夜におこなわれる管絃祭。かつては「舟管絃」、「六月の法会」などと呼ばれていました。今でも多くの参詣者を集める管絃祭が、時代に合わせてどのような変化を遂げてきたのか、ご紹介します。

第3回 おしまわり御島廻—七浦をめぐる神事—

政治勢力の交替が激しい戦国時代の厳島神社。戦国大名毛利氏は、戦乱によって断絶した神事・祭礼の復興を目指しました。毛利氏が好んだ神事の一つ、「御島廻」についてご紹介します。

第4回 ぶとまがり—正月の唐菓子献上—

かつて厳島神社では、元日に唐菓子「ぶとまがり」をお供えしていました。明治以降の厳島では姿を消してしまった「ぶとまがり」奉納や、戦国～江戸時代における厳島神社の正月行事についてお話しします。

第5回 宮島を訪れた人々—平安から明治まで—

宮島は、年間約 330 万人の方を迎えています。旅人は、いったい何に魅了されて宮島を訪れているのでしょうか。過去の紀行文や日記、地誌類を紐解いて宮島の魅力の再発見を試みます。